

弘法さんかわら版

発行編集部

大塚相平事務所

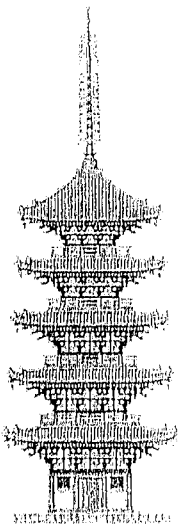
☎052-757-1955

Kouhei@oh-kouhei.org

皆さん、こんにちわ。三月も半ばを過ぎ、日差しも春めいてきましたね。三月二十一日は弘法大師の年命日で**御祥当**(ごようとう)と言います。正確に言えば旧暦ですので、新暦では今年は五月九日になります。御祥当の**縁日**は一年で一番賑わうと言われますが、さて、今日はいかががでしょうか。

★縁日はお祭り、市？

ところで「今日は縁日がある」とよく言います。「縁日＝お祭り、市」という意味合いです。実はこの表現、厳密に考えると少し変です。**縁日**は**仏教用語**です。ひと月のうちの決まった日に、神仏や祖師(高僧など)の供養を行い、縁を結ぶ日というのが縁日です。**有縁日**(うえんび)、**結縁日**(けちえんび)とも言い、この日に参詣すれば特別に功德があると言われるいます。縁日には人が集まることから、参道や境内に露店が出て賑わいます。



したがって、「今日は弘法さんの縁日なので、露店が出る」というのが正確な表現です。

★**灌仏会**＝花祭り

さて、来月八日は**灌仏会**(かんぶつえ)と呼ばれる行事が行われます。これはお釈迦様の誕生日を祝う行事です。日泰寺では、毎年この日に**仏舍利奉安塔**がご開帳になります。

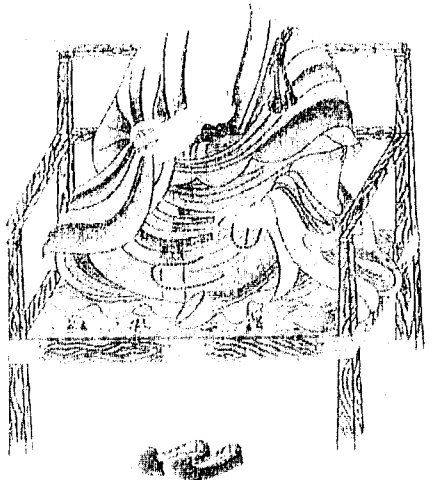
灌仏会は**仏生会**(ぶっしょうえ)。

降誕会(こうたんえ)、あるいは**花祭り**

りとも言われます。

灌仏会のことを花祭りと呼ぶのは、お釈迦様生誕が**ルンビニー**という場所の**花畑**の中だったことに由来します。先月号で、インドにお釈迦様の足跡をたどる**八大巡礼地**があることをご紹介しました。ルンビニーはその**第一巡礼地**です。花畑には季節外れの**アショカ樹の花**が咲いていたと伝えられています。

★竜と釈迦と弘法大師



お釈迦様生誕の際、天から**竜**が現れ、**甘露**（不老不死の霊液）や花々を降らせて沐浴させたという故事に因み、灌仏会は**浴仏会**（よくぶつえ）、**竜華会**（りゅうげえ）とも呼ばれます。灌仏会に**誕生仏**に**甘茶**をかける風習はこの故事から発生しました。

弘法大師にも同様の言い伝えがあります。渇水に苦しむ平安京で弘法大師が祈禱したところ、**金色の竜**が現れて雨を降らせたと言われています。

★巡礼と遍路

さて、今年の弘法さんかわら版は、**日本最小の覚王山八十八か所霊場**に因んで巡礼にまつわる話をお伝えしています。インドの八大巡礼地をはじめ、海外ではスベインの**サンティアゴ巡礼**、国内では**西国巡礼**、**秩父巡礼**など、巡礼と名のつく聖跡巡りはたくさんありますが、**遍路**という言い方は**四国遍路**しかありません。遍路よりも巡

礼の方が広い概念のようです。

これら高僧の聖跡を辿る**祖師巡礼**のほか、**十三仏巡り**、**七福神巡り**、**石仏巡り**といった種類があることは以前にもご紹介しました。次号では、石仏巡りについて調べてみたいと思います。

★覚王山春祭り開催！

来る四月三日（土）と四日（日）に覚王山春祭りが開催されます。今回のテーマは「多国籍でいこう！」。世界のいろいろな国々の食物や衣装のお店がでるようです。どうぞご期待ください。

